

## はじめに

岡山県では、がん（悪性新生物）による死亡が昭和57年に死亡原因の第1位となり、以後も増加しています。平成19年の死亡は5,129人にのぼり、全死亡の28.0%を占めています。

平成19年4月に施行された「がん対策基本法」において、「国及び地方公共団体は、がん患者のがんの罹患、転帰その他の状況を把握し、分析するための取組を支援するために必要な施策を講ずるものとする。」と定められ、同年6月に策定された「がん対策推進基本計画」では、重点的に取り組むべき課題として「がん登録の推進」が掲げられています。本県においても「岡山県がん対策推進計画」において、地域がん登録を一層普及させるとともに、分析項目の充実と精度の向上を図り、データの有効活用を進めることとしています。

がん対策の総合的な推進のためには、死亡情報だけでなく、がんの罹患状況、受療状況、生存状況等の情報を収集・分析することが必要です。岡山県では、これらの業務を、平成4年から社団法人岡山県医師会に委託して「岡山県がん登録事業」として実施しており、平成8年からは登録の対象を全てのがんに拡げ、がん全体の動向把握に努めています。

この報告書は、平成16（2004）年1月から12月までの罹患状況等について集計と分析を行ったものです。また、9部位のがんについて、登録患者の「5年相対生存率」のデータ（平成13年1月から12月までに診断されたもの）も掲載しています。

本書が、がん予防、医療活動の評価や疫学研究など、関係各方面の方々によって幅広く活用され、がん対策推進の一助となれば幸いです。

最後に、本書のとりまとめにあたり多大な御協力をいただきました岡山県医師会をはじめ、各医療機関並びに関係各位に厚く御礼申し上げますとともに、継続的なデータの蓄積によって本事業がさらに充実したものとなりますよう一層の御理解と御協力をお願いいたします。

平成21年3月

岡山県保健福祉部長

神ノ田 昌博